

「研究所所蔵資料を 展示・公開している施設」のこと

若杉 隆志

このサイトのURLは次のとおり。「大原デジタルライブラリー」から入ってください。

●<http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/shisetsu.html>

このサイトは、文字通り大原社会問題研究所の所蔵資料（複製）を常時展示していたり、あるいは、調査研究のために保存・利用公開している施設を一覧するものです。北は宮城県から南は高知県まで、歴史関係のアーカイブ、博物館を中心に24の施設を掲載しています。そこに行けば、わざわざ研究所に来所しなくとも、所蔵資料を利用できるという研究支援のひとつでもあります。

研究所ライブラリーでは、通常の調査研究を超える利用、例えば刊行物への掲載、放送での利用、展示会への出品などの場合は所長宛の「許可申請」を出していただき、利用内容が適正かどうかを判断した上で可否を決めています。資料を複製し、保存・利用公開する場合ももちろんそうです。ちなみに2005年度の許可申請数は、刊行物・ホームページ等への掲載が47件、展示会への提供11件、テレビ番組等マスコミへの提供が5件となっています。インターネットでの所蔵資料の公開が増えるにしたがって利用件数は増加し、また多様に利用されるようになってきています。

今回このサイトを作成するにあたり過去10年分の許可申請のファイルにあたり常時展示、利用公開しているものをリストアップし、また、各機関にはあらためて所蔵の確認がてら正式アップの連絡をしています。

いくつか具体的に紹介しましょう。

石川県志賀町立図書館には同町出身の歌人坪野哲久が『プロレタリア短歌』に掲載した短歌を提供しました。ちょうど今年が坪野の生誕百年ということでこの図書館からはまたあらたに坪野に関連する資料についての問い合わせが来ています。いずれ図書館内に坪野のコーナーがつけられることでしょう。府中市郷土の森博物館の村野四郎関連資料、鳴門市賀川豊彦記念館の賀川豊彦関係資料、高知市立自由民権記念館の安芸盛関連資料なども、図書館司書や学芸員が郷土に縁のある人物に関わる資料を丹念に探し、大原研究所にたどりついたものです。

新潟県立歴史博物館には木崎争議、王番田争議などの小作争議、農民運動関係資料が多数展示されています。歴史系の博物館の多くは古代・中世・近世に比し、近現代のそれも社会運動に関する資料の展示が乏しい中、この博物館の充実ぶりは特筆されます。当時のご担当でよく来所されたIさんが「農民運動というどうしても暗いイメージがつかまとうのか県の上層部はなかなかスペースをくれません。でも新潟

では欠かせないのです」とおっしゃっていたことが今でも印象に残っています。

その新潟の県立文書館、横浜開港資料館、香川県歴史博物館などは県史、市史の編纂、刊行後に収集した資料を整理し公開しているものです。

大原で「お宝」といえる資料でいえば、大正10年に神戸でおきた川崎三菱両造船所の労働争議の実写フィルムはNHKアーカイブに提供し、歴史史料として保存されています。また、過去何度か番組の時代背景として利用されています。高野岩三郎の「日本共和国憲法私案」は国立国会図書館の電子展示会「日本国憲法の誕生」で見ることができます。

研究所の先人たちが創立以来収集、保存してきた資料が今日いろいろな施設で公開、活用されることは大いに歓迎されることだと考えています。なにより研究者、ユーザーの利便性が高まることであり、また、大原研究所自体の存在価値を高めていくことにもつながります。

最後に、これらの史料が必ずしも常時公開、展示されているとは限りませんので、実際に利用、展覧される場合は事前に直接問い合わせされることをおすすめします。また掲載している情報のその後の変更、あるいは、ほかに展示・公開している施設をご存知でしたらぜひご連絡ください。

(わかすぎ・たかし 大原社会問題研究所
事務室主任)

OISR.ORG		法政大学大原社会問題研究所				
トップ 総合案内	研究活動 刊行物	大原デジタル ライブラリー	大原デジタル アーカイブス	大原デジタル ミュージアム	大原社会労働 リンク集	英語版 English

[トップ](#)>法政大学大原社会問題研究所所蔵資料を公開している施設

大原社会問題研究所所蔵資料(複製)を展 示・公開している施設

法政大学大原社会問題研究所の所蔵資料は以下の文書館・博物館・図書館・資料館においても展示されたり、調査研究のため利用公開されています。企画展など一時的な公開のために資料提供した場合は原則として除いていますが、これらの資料が常時公開・展示されているとは限りませんので、ご利用・展覧する際には、各施設に直接お問い合わせされることをおすすめします。

*この件に関連した情報などありましたらお寄せください。
*研究所所蔵資料を複製したり、それを一般公開するには許諾を得ることが必要です。お問い合わせ・申し込みは研究所までご連絡ください。

- <北海道・東北>
 - ・東北歴史博物館
- <関東>
 - ・NHKアーカイブス
 - ・横浜開港資料館
- <東京>
 - ・総務庁統計局統計資料館
 - ・東京都人権啓発センター
 - ・女性と仕事の未来館
 - ・在日韓人歴史資料館
 - ・台東区立下町風俗資料館
 - ・府中市立郷土の森博物館
- <信越・北陸・東海>
 - ・新潟県立文書館
 - ・新潟県立歴史博物館